

平成28年度事業報告

〔 自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日 〕

公益財団法人 人工知能研究振興財団

平成28年度の我が国経済をみると、年度前半には新興国をはじめとする海外経済の減速、円高・株安の進行などに加えて、国内経済についても、個人消費及び民間設備投資は力強さを欠いた状況で、総じて横ばい圏内での推移となっていたが、年度後半から、輸出や生産の増加、個人消費の改善傾向などにより、景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調に持ち直した1年であった。

こうした中で、当財団を取り巻く環境は、低金利の中での厳しい財政運営を余儀なくされている状況ではあるが、設立趣旨に基づき人工知能の研究の振興と産業での利活用の促進を図るため、その事業環境整備として、社会的認知度も高まり、税制上の優遇措置も受けられることなどから、一般財団法人から公益財団法人へ移行することとし、内閣総理大臣の「公益認定」を受け、平成28年4月1日付けをもって、一般財団法人から公益財団法人となった。

これを機に、設立当初から実施している研究助成事業の継続的实施に加えて、研究促進支援のため、本年度は、大学、研究機関、行政機関等とのネットワークを構築するなどして、皆様のニーズに対応した相談・助言事業実施の体制整備に努めた。

I. 事業の概要

平成28年度の事業計画に基づき、次の事業を行った。

1. 人工知能の研究に対する助成事業

(1) 人工知能研究助成金の交付

① 研究対象分野

- ・人工知能に関する調査、研究及び開発
- ・人工知能関連技術の高度化に関する研究

② 募集期間 平成28年7月1日～平成28年9月30日

③ 審査委員 稲垣康善 名古屋大学名誉教授 ほか10名

④ 審査委員会 第1回審査委員会 平成28年 4月27日
第2回審査委員会 平成28年10月14日
第3回審査委員会 平成28年11月 9日

⑤ 助成金の総額 500万円

内 訳	応 募		助 成	
	件 数	要望額 (万円)	件 数	助成額 (万円)
大 学	48	4,644	10	50
企 業	1	100	0	—
合 計	49	4,744	10	500

⑥ 研究助成金交付先・研究テーマ及び助成金額 (別紙)

2. 人工知能に関する講演会、シンポジウム、セミナー等の開催事業

以下について、関係機関とも連携・協力を図り、開催形態として後援、協賛、協力、実行委員会組織等により実施し、事業の充実に努めた。

(1) 講演会・研究助成金交付伝達式

◇「第25回人工知能研究発表講演会」

(併催：平成28年度人工知能研究助成金交付伝達式)

- ・日 時 平成28年12月2日(金) 13:30～19:00
- ・会 場 今池ガスビル 7階ダイヤモンドルーム

①平成28年度人工知能研究助成金交付伝達式

②平成28年度人工知能研究助成対象者による研究内容・目標の発表

③特別講演

タイトル：「自動運転の人工知能」

講 師：名古屋大学 大学院 情報科学研究科

メディア科学専攻 教授 武田 一哉

⑤参加者：講演会等 57名、交流会 39名

◇「第20回人工知能研究成果発表会」

- ・日 時 平成28年9月13日(火) 13:30～16:20
- ・会 場 今池ガスビル 7階 プラチナルーム

①発表者 5名

②コーディネータ 名古屋工業大学名誉教授 伊藤英則

③参加者数：研究成果発表会 44名

◇「第21回人工知能研究成果発表会」

- ・日 時 平成29年3月15日(水) 13:30～16:20
- ・会 場 今池ガスビル 7階 プラチナルーム
- ①発表者 5名発表
- ②コーディネータ 名古屋工業大学 名誉教授 伊藤英則
- ③参加者：研究成果発表会 32名

(2) 実行委員会による事業

<ロボットシンポジウム2016名古屋>

テーマ：「AIの進化で拓がるロボットの未来」

- ① 開催日時：平成28年11月16日(水)～18日(金)
(次世代ものづくり基盤技術産業展TECH Biz EXPO 2016と同時開催)
- ② 会 場：名古屋市中心企業振興会館(吹上ホール)
(名古屋市千種区吹上2-6-3)
- ③ 主 催：ロボットシンポジウム2016名古屋 実行委員会
(構成団体：愛知県、名古屋市、(公財)団法人栢森情報科学振興財団、
ロボカップ2017名古屋大会開催委員会、(公財)名古屋産業振興公社、
公益財団法人人工知能研究振興、ヒューマンロボットコンソーシアム)
- ④ 後 援：経済産業省中部経済産業局、(一社)中部経済連合会、名古屋商工会議所
- ⑤ シンポジウム(講演)
《開催日 平成28年11月16日(水) 参加者数 256名》

【プログラム】

◆開会挨拶

ヒューマンロボットコンソーシアム 会長

ロボットシンポジウム2016名古屋実行委員会 委員長

名古屋大学・豊橋技術科学大学 名誉教授 稲垣 康善

◆基調講演

タイトル：「消えるロボットを創りたい

～生物型ロボットからレスキューロボットまで～」

講師：京都大学 工学研究科 機械理工学専攻 教授 松野 文俊

◆講演 1

タイトル：「RoBoHoN～携帯電話×ロボットの可能性」

講師：シャープ(株) IoT通信事業本部 IoT通信営業統轄部

第2営業部 チームリーダー 木戸 貴之

◆講演 2

タイトル：「生活とサービス領域のロボットビジネス成功の鍵」

講師：千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター副所長

(株)グランドデザインワークス 代表取締役 石黒 周

◆講演 3

タイトル：「コンピュータが小説を書く日」

講師：名古屋大学 大学院 工学研究科 電子情報システム専攻

教授 佐藤 理史

◆特別講演

タイトル：「人工知能は世の中をどう変えるか」

講師：公立はこだて未来大学 複雑系知能学科 教授 松原 仁

⑥ ロボット実演展示 (TECH Biz EXPO 来場者数 延べ17,891名)

《開催日平成28年11月16日(水)～18日(金)》

ロボットメーカー、大学、研究機関及び地方自治体が7小間の展示ブースに、それぞれロボット技術や製品を展示し、技術交流と商談を行った。

3. 助成研究成果のフォローアップ及び助成制度に対する意見・要望等調査

当財団においては、設立からこれまでに(平成2年度～平成28年度)、公募により全国各地から1,519件の応募をいただき、審査によりこのうち340件、金額にして2億2,000万円の研究費の助成を行った。

この助成研究について、研究成果のフォローアップとともに、制度に対する意見・要望を把握し制度改善の基礎資料とするため、これまでに助成金を交付した調査可能な全ての研究者を対象として、アンケート調査を実施したが、その結果の主なポイントは次のとおりであった。[調査対象研究者数 234名 / 有効回答者数 105名(回答率 44.9%)]

(1) 研究助成制度

「助成金の応募方法、申請書類作成の難易度」を聞いたところ、「回答者全員(100%)」が分かりやすいとの回答であった。

また、研究実施に当たって、助成金の使い勝手の善し悪し(資金使途の制約、申請・実績報告添付エビデンス等)についても、「回答者のほぼ全員(99%)」が使い勝手が良いとの回答があった。

[分析・評価]

これらのことから、「研究助成制度」については、申請書類作成の事務負担の軽重及び資金使途の制約の多少の観点等から総じて好評価を受けているものと思われる。

(2) 助成研究の成果等

助成研究のうち、57%は、「事業化・実用化なく研究のみで終了」との回答であった。

一方において、「事業化・実用化」されたとの回答が4%、「事業化・実用化検討中」が同じく4%、「一定の成果が得られ、他の要素技術との共同研究を実施中」であると回答があったのは24%あり、これらを足すと32%となり、回答のあった約1/3が、実用化又は実用化に向けて何らかの形で研究中であるとしている。

また、助成研究の派生研究を含めた研究継続についての別の質問においては、「助成研究の派生研究を実施」が45%、次いで「助成研究を継続中」が18%、「助成研究の延長研究実施」が11%、「実用化段階へ移行の研究中」が3%で、回答者全体の3/4以上(77%)が助成研究の結果により、継続又は派生研究を実施しているという結果になった。

[分析・評価]

以上の結果から、本研究助成制度は、その活用により人工知能の研究振興、実用化の促進に一定の寄与をしてきたものと考えられる。

(3) その他財団事業

当財団の実施事業の要望等を訪ねたところ(複数回答)、「研究助成金以外望まない。」との回答が55%であったが、研究開発の次のステージの「事業化・商品化の支援」の要望が23%あった。

そのほか、研究促進支援策等の希望として、「人的支援」が22%、「研究に関する技術相談・指導」が10%、「研究費融資」が6%あった。

[分析・評価]

現在、政府、研究開発機関、地方自治体において、人工知能の研究開発、産業化、利活用の促進のための政策対応が積極的に進められているところであるが、当財団においても、人的、財政的制約がある中ではあるが、更なる研究促進のため、相談・指導事業を始めニーズに対応した事業実施の検討をしていくこととする。

4. 人工知能に関する情報の収集・提供

情報提供事業の効果的方法として、ホームページの内容充実と適宜改良を行った。

また、機関紙(AI Information)については、1月に発行し、財団の運営及び事業実施状況の周知に努めた。

なお、平成17年度から過去の研究助成金交付者にも機関紙を送付とともに、ホームページに助成研究の概要を掲載し、研究者との連携協力関係の構築を図っていくこととした。

5. 人工知能の研究に関する相談・指導

平成28年4月1日付けをもって公益財団法人となったのを機に、設立当初から実施している「研究助成事業」の継続的实施に加えて、更なる研究促進支援のため、「人工知能の研究に関する相談・指導事業」について、その推進計画を昨年11月の理事会の承認を得て、実施することとした。

本年度は、同事業の実施に当たり、個別に以下の大学、試験研究機関、行政機関等に対して 研究開発・事業化等支援・協力機関として、連携・協力依頼を行い、基礎的なネットワークを構築することにより、試行的ではあるが、相談等内容に応じて関係機関への橋渡しをする事業の実施体制を整えた。

今後は、当該事業を推進していく中で、組織的及び研究者等人的ネットワークを全国的に広げていくこととしている。

◇研究開発・事業化等 支援・協力機関

(順不同 ・ 法人組織名省略)

- ・名古屋大学 ・名古屋工業大学 ・豊橋技術科学大学 ・愛知県立大学
- ・愛知工業大学 ・大同大学 ・中京大学 ・中部大学 ・名城大学
- ・産業技術総合研究所 ・新エネルギー・産業技術総合開発機構
- ・経済産業研究所 ・人工知能学会
- ・あいち産業科学技術総合センター ・名古屋市工業研究所
- ・経済産業省中部経済産業局 ・愛知県 ・名古屋市
- ・中小企業基盤整備機構 ・名古屋商工会議所

II. 理事会の開催

第59回、第60回（決議の省略による決議）、第61回及び第62回理事会を開催し、平成27年度事業報告及び収支決算並びに平成29年度事業計画及び収支予算等のほか、任期満了に伴う役員改選等に関する議案等について審議した。

1. 第59回理事会（決議の省略の方法による決議）

(1)決議あったものとみなされた日 平成28年6月10日

(2) 提案事項

[決議事項]

- ① 平成27年度事業報告及び計算書類等の承認を求める件
- ② 平成27年度公益目的支出計画実施報告書の承認を求める件
- ③ 顧問及び参与の委嘱に関する件
- ④ 審査委員の委嘱に関する件
- ⑤ 平成28年度定時評議員会の招集の承認を求める件

(評議員会 決議事項)

第1号議案 平成27年度計算書類等の承認を求める件

第2号議案 理事の選任に関する件

第3号議案 評議員の選任に関する件

(報告事項)

- (1) 平成27年度事業報告の内容報告の件
- (2) 平成27年度公益目的支出計画実施報告書の内容報告の件
- (3) 公益財団法人への移行について

2. 第60回理事会 (決議の省略の方法による決議)

(1) 決議あったものとみなされた日 平成28年6月28日

(2) 提案事項

[決議事項]

- ① 代表理事(理事長) 選定の件
- ② 業務執行理事及び専務理事選定の件
- ③ 事務局長選任の件

3. 第61回臨時理事会

(1) 日 時 平成28年11月10日 13:30~14:40

(2) 場 所 栄ガスビル 5階クイーンルーム

(3) 審議事項

(決議事項)

第1号議案 「個人番号及び特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針」及び「個人番号及び特定個人情報取扱規程」の承認を求める件

第2号議案 人工知能の研究に関する「相談・指導事業推進計画」の承認を求める件

第3号議案 事務局長の辞任に伴う後任者選任の件

第4号議案 評議員会の決議並びに報告の省略についての決定を求める件

第5号議案 評議員会の決議並びに報告事項について承認を求める件

〔決議議案〕

・理事の選任に関する件

〔報告事項〕

(1) 人工知能の研究に関する「相談・指導事業」の推進について

(2) 平成28年度研究助成金の交付対象研究の決定について

(3) 事務局長の辞任に伴う後任者の就任について

(報告事項)

(1) 平成28年度研究助成金の交付対象研究の決定について

(2) 職務執行状況報告の件

3. 第62回理事会

(1) 日 時 平成29年3月3日 10:00～11:00

(2) 場 所 栄ガスビル 5階クイーンルーム

(3) 審議事項

(決議事項)

第1号議案 平成29年度事業計画(案)の承認を求める件

第2号議案 平成29年度収支予算(案)の承認を求める件

第3号議案 平成29年度資金調達及び設備投資の見込みの承認を求める件

(報告事項)

・職務執行状況報告の件

Ⅲ. 評議員会の開催

平成28年度定時評議員会により平成27年度事業報告、収支決算及び任期満了に伴う理事の改選、決議の省略による臨時評議員会により期中辞任に伴う理事の選任議案等について審議した。

1. 平成28年度定時評議員会

(1) 日 時 平成28年6月28日(火)(月) 9:30～10:40

(2) 場 所 栄ガスビル 5階 ヴィーナスルーム

(3) 審議事項

(決議事項)

第1号議案 平成27年度計算書類等の承認を求める件

第2号議案 理事の選任に関する件

第3号議案 評議員の選任に関する件

(報告事項)

- (1) 平成27年度事業報告の内容報告の件
- (2) 平成27年度公益目的支出計画実施報告書の内容報告の件
- (3) 公益財団法人への移行について

2. 臨時評議員会（決議の省略による決議）

(1) 決議あったものとみなされた日 平成28年11月24日

(2) 提案事項

〔決議事項〕

- ・理事の選任に関する件

(報告事項)

- ① 人工知能の研究に関する「相談・指導事業推進計画」について
- ② 平成28年度研究助成金の交付対象研究の決定について
- ③ 事務局長の辞任に伴う後任者の就任について

IV. 公益財団法人移行後の財団運営及び人工知能研究振興等事業のあり方について

公益財団法人は、「出捐者から公的に付託された資金によりその設立目的の達成のため、社会全般を受益者として、継続的に公益目的事業を適正かつより効率的、効果的に行う。」ことが求められている。

このため、公益財団法人移行後の事業環境における財団運営及び人工知能研究振興等のための事業のあり方について「業務運営委員会」において、検討をお願いすることとしており、本年度は、「相談・指導事業推進計画及び支援、協力対象機関・ネットワーク作りの手法」、「助成研究成果のフォローアップを含めた助成制度に関するアンケート調査票の設計」、「来年度の事業計画及び収支予算策定についての基本的方針」等について、検討、決定が行われた。

(別紙)

平成28年度人工知能研究振興財団 研究助成交付対象研究一覧表

(単位:千円)

No	申請者	研究テーマ	助成 決定額
1	富山高等専門学校 機械システム工学科 准教授 池田 英俊	複数ロボットの情報統合による高度知能化と移動不能車両の救援システムの構築	500
②	湘南工科大学 電気電子工学科 准教授 森 貴彦	上腕欠損者用電動義手制御のための肩関節運動の識別の研究	500
③	名古屋市工業研究所 システム技術部 電子技術研究室 研究員 村瀬 真	非破壊検査に向けたテラヘルツ波透過データの処理方法に関する研究	500
4	北海道大学 大学院 工学研究院 准教授 江丸 貴紀	マルチモーダル深層学習を用いた農業環境におけるロバスト画像認識システムの構築	500
5	北見工業大学 情報システム工学科 助教 山内 翔	「新たな事象を能動的に発見する」ロボットの行動発展アルゴリズムの構築	500
6	群馬大学大学院 理工学府 助教 浜名 誠	高度 AIソフトウェア の開発促進のための新しいネットワーク構造型プログラム言語の開発	500
7	藤田保健衛生大学 消化管内科 教授 柴田 知行	新規内視鏡データベースを用いた画像診断ツールの開発	500
8	豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 准教授 福村 直博	異種モダリティ情報の統合によるパターン認識手法の研究	500
⑨	新潟大学 工学部 機械システム工学科 准教授 寒川 雅之	力・光・温度複合検知超小型センサによる繊維製品の質感評価指標の構築	500
⑩	東京大学 生産技術研究所 特任助教 須藤 明人	ヒット商品のコンセプトを創出できる人工知能の研究	500

(注) ○印 産学(官)共同研究

- ・応募総数 49件
- ・助成要望額計 47,442千円
- ・採択件数 10件
- ・交付決定総額 5,000千円